

設問別調査結果 [国語A：主として知識]  
全国一生徒（公立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,033,291	9,851	77.0

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	86.8
	書くこと	3	64.6
	読むこと	10	75.7
	言語事項	17	76.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	86.8
	書く能力	3	64.6
	読む能力	10	75.7
	言語についての知識・理解・技能	17	76.0
問題形式	選択式	19	76.0
	短答式	14	78.4
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式
1一	主語に合わせて述語の部分の正しく書き直す	主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書く		○		○			○	○		○			49.8	5.6
2一	スピーチの工夫の効果として適切なものを選択する	効果的なスピーチをするために話し方の工夫をする	○						○			○			75.8	0.4
2二	スピーチの特徴の説明として適切なものを選択する	効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する	○						○			○			88.1	0.4
3一	物語の展開の順番どおりに出来事を並び替える	本文の展開に即して内容をとらえる			○					○			○		89.5	0.5
3二	僕とカムパネルラが知っていることの説明として適切なものを選択する	本文の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取る			○					○					85.2	1.2
3三	先生の質問に答えなかったカムパネルラが、僕の何をどう思っていると考えたかが書かれている部分を本文中から抜き出す				○					○			○		84.1	10.7
4一	先生の話から必要な情報を聞き取り、メモをとる	話の内容から必要な情報を的確に聞き取る	○						○				○		92.7	0.9
4二	足りない情報を得るための質問として適切なものを選択する	聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問する	○						○				○		90.9	0.6
5一	提案するときに根拠にする意見として適切なものを選択する	自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶ		○						○			○		75.2	0.6
5二	提案するときにある意見を取り上げて書く理由として適切なものを選択する	自分とは異なる立場の意見を取り入れて、説得力のある文章を書く		○						○			○		68.7	0.9
6一	目次の特徴とそれを使ってできることの説明として適切なものを選択する	目次の特徴や役割を理解する			○						○				85.4	0.6
6二	調べたい事柄が書かれている章を選択する	目次を読んで、必要な情報がどこにあるか見当を付ける			○						○				81.2	0.6
7一	短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れめを付けたものとして適切なものを選択する	短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ			○					○			○		28.9	0.8
7二	短歌について書かれた文章の空欄に当てはまるものとして適切なものを選択する	語句の意味を理解する			○					○			○		83.6	0.9
7三	短歌の内容について適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、内容について理解する			○					○			○		77.9	1.0

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,033,291	9,851	77.0

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	86.8
	書くこと	3	64.6
	読むこと	10	75.7
	言語事項	17	76.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	86.8
	書く能力	3	64.6
	読む能力	10	75.7
	言語についての知識・理解・技能	17	76.0
問題形式	選択式	19	76.0
	短答式	14	78.4
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
8-1	漢字を書く(世界イサンを見学する)	文脈に即して漢字を正しく書く				○					○	○		75.2	8.2
8-2	漢字を書く(ジシャクを使って方位を調べる)					○					○	○		84.0	6.3
8-3	漢字を書く(燃料をオギナウ)					○					○	○		53.7	22.6
8-1	漢字を読む(空気の抵抗がある)	文脈に即して漢字を正しく読む				○					○	○		98.2	1.4
8-2	漢字を読む(ピアノで伴奏をする)					○					○	○		88.9	2.0
8-3	漢字を読む(真実に迫る)					○					○	○		91.0	3.5
8-3ア	適切な語句を選択する(急いでいるときは、靴をはくのもどかしい)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				○					○	○		49.3	1.4
8-3イ	適切な語句を選択する(鬼をおいはらうならわしは、今でも続いている)					○					○	○		71.0	0.9
8-3ウ	適切な敬語を選択する(お客様、どうぞこの洋服をおめしになってください)					○					○	○		85.9	0.9
8-3エ	適切な同音異義語を選択する(調査結果について、報道機関に対して説明する)					○					○	○		74.7	1.1
8-3オ	適切な接続詞を選択する(たとえそうであっても)					○					○	○		92.2	1.2
8-3カ	適切な同音異義語を選択する(来賓のシュクジは、特に印象に残っている)					○					○	○		72.4	1.8
8-4	意味は変えずに、主語を変えて書き換える	動作の受け手を主語にした受け身の文に書き換える				○					○	○		82.6	2.9
8-5-1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(むかひて)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			○						○	○		75.9	3.6
8-5-2	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す(よしなしごと)	古文と現代語訳とを対応させて内容をとらえる			○						○	○		65.0	6.3
8-6	先生の助言を生かして書き直したものを選択する	行書の基本的な書き方を理解し、配列・配置に気を付けて書く				○					○	○		77.4	1.1
8-7	国語辞典で調べたことをもとに、語句の意味を書く	辞書を活用して、語句の意味を適切に書く				○					○	○		66.7	16.7
8-8	国語辞典の説明から分かることを選択する	辞書に書かれている情報を適切に読み取る				○					○	○		79.6	1.6

設問別調査結果 [国語B：主として活用]  
 全国一生徒（公立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,033,703	9,851	74.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	
	書くこと	5	72.5
	読むこと	11	74.5
	言語事項	0	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	70.8
	話す・聞く能力	0	
	書く能力	5	72.5
	読む能力	11	74.5
	言語についての知識・理解・技能	0	
問題形式	選択式	3	70.2
	短答式	3	82.0
	記述式	5	72.5

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
1ーアイ	子ども図書館案内図を見て、特定の本を借りるために行くべき場所を選択し、その場所に行く理由を書く	書かれている内容をとらえ、資料に基づいて自分の考えを説明する		○	○				○	○			○	79.6	0.9
1ーイ	子ども図書館案内図にみられる工夫として当てはまらないものを選択する	表現の仕方や文章の特徴をとらえる			○				○		○			72.8	0.6
1ーイア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く	資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる		○	○		○		○	○			○	59.1	7.1
1ーイイ	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の受付カウンターの役割の説明文を書く	資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる		○	○		○		○	○			○	76.6	6.8
2ー	本文の第一段落の役割について述べたものとして適切なものを選択する	文章の展開をとらえ、段落の役割を理解する			○				○		○			72.1	0.7
2ー	本文の内容を適切にとらえ、発光ダイオードの特徴を箇条書きで三つ以上書く	文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書く		○	○		○		○				○	66.4	13.1
2ー	資料の図が、文章のどの部分を補足しているかについて、文章中から抜き出す	文章と補助資料とのかかわりを理解する			○				○			○		64.0	17.8
3ーA	表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す	語句に注意し、その効果的な使い方に気付く			○				○			○		91.4	4.6
3ーB					○			○		○				90.6	4.6
3ー	ひとまとまりのものとしてとらえた複数の連の内容について適切なものを選択する	詩の表現の仕方に注意して内容をとらえる			○				○		○			65.7	1.2
3ー	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く	詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書く		○	○		○		○				○	80.8	4.3

設問別調査結果 [数学A：主として知識]  
全国一生徒（公立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,033,885	9,847	62.7

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	11	67.3
	図形	11	64.6
	数量関係	11	56.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な表現・処理	9	63.7
	数量、図形などについての知識・理解	24	62.3
問題形式	選択式	20	60.5
	短答式	13	66.1
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
1(1)	$15:9=5:\square$	比の意味を理解している	○					○	○			88.8	2.7
1(2)	$(-3^2)$ と同じ計算を表しているものを選ぶ	指数の計算の仕方を理解している	○					○	○			75.7	0.4
1(3)	$2 \times (5-8)$ を計算する	( )を含む正の数と負の数の計算をすることができる	○					○		○		89.5	1.3
2(1)	$3x \times (-4xy)$ を計算する	単項式どうしの乗法の計算をすることができる	○					○		○		91.0	2.4
2(2)	$n$ が負の整数のとき、最も大きな数を選ぶ	文字の値が負の整数のときに、文字式の値について考察することができる	○					○	○			66.3	0.5
2(3)	連続する3つの自然数において、文字 $n$ が表すものを選ぶ	具体的な場面に照らして、文字式の意味をよみとることができる	○					○	○			55.5	1.0
2(4)	等式 $S=1/2ah$ を、 $a$ について解く	具体的な場面で、等式を目的に応じて変形することができる	○					○		○		44.5	17.7
3(1)	一元一次方程式を解くとき、等式の性質を選ぶ	等式の性質と移項の関係を理解している	○					○	○			68.3	1.0
3(2)	$3/4x=1/4x-7$ を解く	係数に分数を含む一元一次方程式を解くことができる	○					○		○		52.3	15.0
3(3)	一元一次方程式をつくるために、着目する数量を答える	一元一次方程式をつくって問題を解決するために、2通りに表せる数量に着目することができる	○					○		○		34.9	18.5
3(4)	連立方程式 $\begin{cases} 2x-3y=1 \\ 3x+2y=8 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○					○		○		72.8	10.6
4(1)	平行四辺形が線対称か点対称か選ぶ	平行四辺形は点対称な図形であるが、一般には線対称な図形でないことを理解している		○				○	○			52.8	0.7
4(2)	折り目の線について、正しい作図を選ぶ	作図と線分の垂直二等分線について理解している		○				○	○			44.4	1.1
5(1)	立方体の展開図において、与えられた面に平行な面を選ぶ	展開図で示された空間図形について、2つの面の位置関係(面と面の平行)をとらえることができる		○				○	○			95.4	0.6
5(2)	直角三角形の一边を軸として回転させてできる立体を選ぶ	直角三角形の一边を軸とする回転によって円錐が構成されることを理解している		○				○	○			87.2	0.6
5(3)	円柱の展開図において、円の周の長さ $l$ と長方形の辺の長さ $a$ の関係について正しいものを選ぶ	円柱の展開図において、底面の円の周の長さ $l$ と側面の長方形の辺の長さ $a$ の関係を理解している		○				○	○			82.6	0.8
5(4)	中心角 $60^\circ$ の扇形の面積について正しいものを選ぶ	扇形の面積がその中心角の大きさに比例することを理解している		○				○	○			56.4	0.9

設問別調査結果 [数学A：主として知識]  
全国一生徒（公立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

## 集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,033,885	9,847	62.7

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	11	67.3
	図形	11	64.6
	数量関係	11	56.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な表現・処理	9	63.7
	数量、図形などについての知識・理解	24	62.3
問題形式	選択式	20	60.5
	短答式	13	66.1
	記述式	0	

## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
6(1)	同位角の位置にあるものを選ぶ	同位角の意味を理解している		○					○	○		42.4	0.8
6(2)	多角形の外角の和について正しいものを選ぶ	多角形の外角の性質を理解している		○					○	○		66.1	1.1
7(1)	三角形の合同の証明に必要な辺や角を書く	2つの三角形が合同であることを判断する際に必要な辺や角の相等関係を指摘することができる		○					○	○		85.2	4.5
7(2)	底角が等しいことを記号を用いて表す	二等辺三角形について2つの底角が等しいことを、記号を用いて表すことができる		○				○		○		69.5	15.5
8	三角形の内角の和が180°であることの証明について正しいものを選ぶ	証明の意義について理解している		○					○	○		28.9	1.2
9(1)	$y=3x$ について、正しい記述を選ぶ	比例定数の意味を理解している			○				○	○		53.7	1.8
9(2)	(2, 3)の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる			○				○	○		77.1	3.5
9(3)	比例の関係を表した表を選ぶ	比例の関係を表す表の特徴を理解している			○				○	○		71.4	1.1
10(1)	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象で、2つの数量の関係が反比例の関係になることを理解している			○				○	○		40.2	1.8
10(2)	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 $x$ と $y$ の関係を $y=a/x$ の式で表すことができる			○			○		○		41.1	21.2
11(1)	傾きと切片の値から、それを表すグラフを選ぶ	傾き、及び切片の値とグラフとの対応から一次関数のグラフの特徴を理解している			○				○	○		60.7	1.3
11(2)	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象から、 $x$ と $y$ の関係を $y=ax+b$ の式で表すことができる			○			○		○		55.6	18.4
11(3)	一次関数を表すメモの一部から、それを表す式を選ぶ	変化の割合や対応する $x$ と $y$ の値の組をもとに、一次関数の式を求めることができる			○				○	○		52.3	1.9
12	$2x+y=6$ の解を座標とする点の集合がどのようなになるか選ぶ	二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している			○				○	○		35.9	2.0
13(1)	2種類の画びょうのどちらが上向きになりやすいか、実験結果を比べ、正しいものを選ぶ	不確定な事象の起こり得る程度を、確率の意味にもとづいて割合で比較できることを理解している			○				○	○		73.2	1.6
13(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が7になる確率を求める	事象の起こる確率を求めることができる			○				○	○		57.1	14.3

設問別調査結果 [数学B：主として活用]  
全国一生徒（公立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,033,909	9,843	56.9

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	3	61.4
	図形	6	57.5
	数量関係	6	54.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	12	52.4
	数学的な表現・処理	2	70.1
	数量、図形などについての知識・理解	1	85.3
問題形式	選択式	6	61.6
	短答式	4	70.3
	記述式	5	40.6

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
1(1)	「紋切り遊び」で1回折りでできる模様として、正しいものを選ぶ	事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえることができる		○				○	○			85.3	0.4
1(2)	「紋切り遊び」でできる模様だけにみられる図形の性質を説明する	事柄の特徴を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明することができる		○		○				○		46.2	2.3
1(3)	「紋切り遊び」で3回折りでできる模様として、正しいものを選ぶ	事象を数学的に解釈することができる		○		○			○			53.7	0.9
2(1)	1段目の連続する3つの自然数が21, 22, 23のとき、3段目に入る数を求める	問題場面における考察の対象を明確にとらえている	○			○				○		85.6	4.9
2(2)	1段目に連続する3つの自然数を入れたとき、3段目の数が4の倍数になることを説明する	筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することができる	○			○				○		40.6	17.8
2(3)	2段目の2つの数 $2n+1$ , $2n+3$ について、式からよみとれる性質を選ぶ	説明を振り返って考えることができる	○			○			○			57.9	1.5
3(1)	白熱電球を1000時間使用したときの総費用を求める	表から必要な情報をよみとることができる			○		○			○		60.5	7.1
3(2)	蛍光灯の使用時間と総費用の関係を表すグラフ上にある点のy座標を表すものとして正しいものを選ぶ	グラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができる			○		○			○		61.7	1.2
3(3)	蛍光灯と白熱電球の総費用について、2つの総費用が等しくなるおよその時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			○		○				○	19.1	49.7
4(1)	2つの線分が平行になることを、三角形の合同を利用して証明する	方針にもとづいて証明することができる		○		○					○	41.0	21.2
4(2)	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したことと仮定以外に分かることを選ぶ	証明を振り返って考えることができる		○		○				○		63.3	1.5
4(3)	2つの線分が平行になることを証明する際に、平行四辺形に着目し、平行四辺形になるための条件を選ぶ	証明の方針を立てることができる		○		○				○		55.3	1.3
5(1)	「箱を変更しない」と決めてゲームを行う場合、3つの箱から1つの箱を選ぶとき、それが当たりの箱である確率を求める	与えられた情報を分類整理することができる			○		○			○		79.7	10.3
5(2)	「箱を変更する」と決めてゲームを行う場合、最初に選んだ箱がはずれたとすると、箱を変更すれば必ず当たる理由を説明する	事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができる			○		○				○	56.2	23.1
5(3)	「箱を変更する」と決めてゲームを行う方が当たりやすいという予想を確かめる実験方法として、最も適切なものを選ぶ	不確定な事象についての予想を実験で確かめるための方法を考えることができる			○		○			○		47.5	1.7